

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「個人の尊重」「持てる力を引き出し」「地域社会のふれあいを大切に」を基本に、健康で生き活きとした暮らしの継続を支援すると定めています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念が見える場所に掲示し、職員ひとりひとりが理解、実施に向けて取り組めるようにしています。またカンファレンス等で取り上げ、職員一人ひとりが理解、取組めるようにしています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族には契約時に説明していても、地域住民には、十分に浸透していない。	○ 今後は町内会に積極的に出向き理念の話ができる機会を作っていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域交流が図れるよう慰問や行事には近隣住民や町内会の人たちにも声をかけ、参加してもらっています。また、ボランティアや実習生等の受け入れをしています。	○ 今後も積極的に参加し、運営推進会議などで役立つことがないか話し合い、働きかけをしていきたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価にて指摘されたことをすぐに実行、改善へと努めています。	○	評価結果にて足りない部分を全職員へ連絡し、話し合いをもち、改善へとこれからも取り組んでいきたいです。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回、開催し評価への報告、話し合いをしています。また、そこでの意見をサービスの向上に活かせるよう検討、実現に努めています。	○	今後も持続しながら施設サービスの質の向上に繋がっていきたいと思います。
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者への相談や情報交換でご指導いただきサービスの質の向上に取り組んでいます。		
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会に参加し、理解をしえちるものの職員全員にまでは制度に関する理解までは浸透していません。必要であれば活用できるように資料、パンフレットの用意をしています。	○	勉強会を開き、制度についての仕組み等を学び、必要な人に支援できるようにしていきたいです。
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成、利用者の表情、言動、行動に細心の注意を図り、職員全体にて話し合いを持ち、防止へと繋がっています。また、利用者にとって最善の方法を考え取り組んでいます。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項説明書に沿って説明し、家族・利用者等からの要望を聞き入れながら、行っています。	
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や不満、苦情に対する投票箱を設置していますが開設以来、投入がありません。また、利用者自らなかなか話し出すことがないため、利用者との個人的になった際、コミュニケーションを通じて引き出すようにしています。	
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時には、利用者の近況を報告しています。また、2ヶ月に一回近況を報告する手紙を送付しています。ホームにて金銭管理をしている利用者には台帳を付け、月初めに家族と残高照会をし確認をいただいています。	
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時の文章に意見、苦情の窓口を記載しています。投書箱への投入はなく、家族が不満や苦情・意見が述べられるよう日常のコミュニケーション、面談で意見交換し改善へと取組んでいます。	○ 苦情や不満・意見等を職員全員へ連絡、会議を開き反映できるよう話し合いをしています。
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者と話し合いの機会を持ち個々に聞き入れています。会議やミーティング等で一人ひとりの意見が述べられるようにし、意見を聞き入れては反映できるようにしています。	
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者に最大限のケアができるよう職員数を確保、調整しています。また、施設行事、外出時の付き添い等、必要時出勤できる人員を確保、いつでも調整できるようにしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	担当フロアに関わらず利用者とは交流を図ることで、職員の入れ替えが生じても不安にならないよう配慮しています。		
5. 人材の育成と支援				
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりが積極的に研修等に参加できるよう調整し、機会を設けています。研修にて学んだことは介護現場に活かしています。		
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	さまざまな外部研修を経て同業者との情報交換や情報収集をし、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレスを少しでも軽減できるよう全職員との懇談会を年2回は開催しています。また、職場内は少しでも休養できる場の確保をしています。		
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	周囲に目を配り、個々の努力や実績等を把握し、悩みや不安などを聞くようにしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用に至るまで施設見学をしていただいています。初期ケア計画作成時には必ず、家族・利用者から不安・要望等を聞き入れ、受け止める努力をしています。また、面会時も近況報告を兼ねて聞き入れる等信頼関係を形成しています。	
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族が求めている支援を見極め、必要な対応をしています。	
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	施設見学、安心、納得の上で利用いただくよう努めています。入所時には利用者の生活歴を聞き入れ、少しでもなじめるように家族と相談しながら、協力を得ています。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を家族として接し、喜怒哀楽はもちろん相互を必要とした関係を形成しています。料理の味付けや作り方を教わったりしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	定期的に利用者の様子を伝え、情報交換にて家族と一緒に喜怒哀楽ができる関係を形成しています。	○	
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	外出や外泊、ホーム行事にも家族も参加していただき、よい関係が形成できるよう支援しています。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前から利用している床屋、美容院を継続利用したり、顔馴染みのお店で買物をしたりとしています。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者一人ひとりの性格を把握し、孤立しないよう職員が相互の間に入り、交流を図れるよう支援しています。		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	病院に入院されたときは、お見舞いに行き、励まし、付き合いを継続できるようにしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	サービスを利用開始前に聞きいれています。今までの生活が崩れないよう本人の意向や家族から聞き、取り入れるようにしています。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常生活の中でコミュニケーションを図りながら、情報収集、把握、記録をしています。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活の中で、状態変化に気をつけながら、現状を把握するよう心がけています。また、申し送りやケアマネジャーから情報を得ています。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスにて話し合いをしています。また、家族からの要望をその都度聞き入れカンファレンスで定義、話し合いをし、よりよいケアになるよう介護計画を作成しています。	
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一回の見直しを基本とし、評価を実施しています。また、利用者の現状の中で対応困難が生じた場合、本人に合ったケアプランの見直し、変更へと作成しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個々に記録し、ケアの中で気づいた点を職員全員が把握できるよう連絡簿への活用をしています。	○	記録を元に、ケア計画の見直しに活用しています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望があれば、通院、理美容、外出の支援をしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者の意向に応じて、文化機関の活用を行っています。また、安心・安全に暮らせるように町内交番や消防署には協力を得られるように働きかけをしています。	○	施設自ら地域活動に参加し、交流を活発に行っています。
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	担当ケアマネジャーと話し合いの機会を持つなどの連携を図っています。		
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性がある場合の対応は、今後地域包括支援センターと連携し応えることとしています。	○	地域包括支援センターとの情報交換を積極的に行い、連携に努めています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者が普段かかっている医師と連携をとり、緊急時には本人、家族の了解を得て、他の医療機関を受診できるようにしています。		
41 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医と連携を持ち必要に応じた医療機関への受診ができるよう支援しています。		
42 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員と看護師相互が些細なことでも相談・助言できるよう連携を図っています。また、医師や看護師との情報交換、提供などを通して健康管理に努めています。		
43 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関との情報交換を密にし、早期退院ができるよう努めています。また、本人、家族が退院後も安心して過ごせるように相談につとめています。		
44 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族が希望する内容を話し合い、かかりつけ医と連携しながら、共有していきたいです。		
45 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人や家族に添えるよう医療との連携を図りながら、職員で検討し、取組んでいきたいです。	○	利用者がよりよく暮らせるために、できるケアを提供します。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族や本人に関わる関係者間で十分な話し合いや意見交換を行うこととしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
47	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	オムツ交換や着替え等の際に、言葉かけや対応を職員間で注意しながら配慮しています。		
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の思い、希望の自己決定できる場面作りをし、わかる力に合わせた説明を行い、納得しながら暮らせるよう支援しています。		
49	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間帯によっては、職員の都合を優先してしまうことがあり、そのため利用者のペースを崩してしまうことがあります。	○	時間帯によっては、利用者の希望通りにできないことを前もって伝えるようにしていきます。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
50	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者個々の希望に添った理髪店を利用しています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>できる範囲内のことを利用者と一緒に行うようにしています。</p>	
52	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>本人の嗜好を把握し、希望時には提供できるようにしています。</p>	
53	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>定期的にトイレ誘導やオムツ交換を実施することで排泄時間帯を把握しています。</p>	
54	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>受診時を避けた日を入浴とし、希望時間に合わせた入浴ができるよう支援しています。また、本人から入浴日以外の要望もあった際、聞き入れるようにしています。</p>	<p>○</p> <p>入居者の希望を取り入れ、曜日、時間を決めて実施しています。また、希望があれば随時対応できるように支援しています。</p>
55	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>夜間不眠者や昼夜逆転者には日中の離床を促し、余暇への提供をしています。また、天候が良い日は近隣を散歩するなどの気分転換を図っています。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者個々の力を最大限に発揮できるよう、本人とのコミュニケーションや家族から聞き、把握し持てる力を引き出すような支援をしています。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理のできる利用者には、個人の金庫を利用した金銭所持をしています。また希望者や金銭管理困難者にはホーム管理とし、個人台帳への記載を明確にしています。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者一人ひとりの要望を聞き、外出ができるよう支援しています。		
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ホーム行事を検討・計画し、利用者や家族と一緒に外出できる機会を作れるよう支援しています。		
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は誰でもかけられる位置に設置し、いつでもかけられるようにしています。	○	
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	開放的な雰囲気を保ち、気軽に訪問できるよう心がけています。		
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が理解し、身体拘束をすることなく利用者大切なケアを考え取組むようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけることなく利用者同士が自由に行き来できるよう開放感へと繋げたケアをしています。		
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながらも、常時入居者の様子を把握・理解し、安全面に考慮しています。		
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	医薬品は目に触れず、入居者の出入りがない場所に保管しています。刃物に関しては、職員の目が行き届かない場合、アコーディオンカーテンをし、施錠しています。		
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止マニュアルを作成しています。また、話し合いの機会を持ち、個々の状態把握、事故防止へと取り組んでいます。		
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成し、いつでも見れるよう掲げています。カンファレンスやミーティングを用いては話し合いや勉強会を行っています。	○	定期的には行っていないため、今後は定期的に行えるよう取組んでいきたいと思えます。
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災を想定し、避難訓練を年3回定期的に行っています。また、近隣の住民や提携医療機関にも協力を得られるように働きかけをしています。町内会の役員たちにも声かけをし協力を得ています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者の現状を家族へ報告し、利用者により起こり得るリスクや対応策を説明し、了解を得ています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの体調変化の早期発見に努め速やかに家族、医師、看護師と連携を取り、必要に応じて病院受診を行っています。また変化について介護記録し、職員間で申し送り情報を強化しています。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者一人ひとりの服薬は指示通り服薬しているが、一つ一つの薬剤の目的・服作用の理解はできていません。	○	薬情はただファイルするのではなく、空き時間を利用して目を通すなど意識付けをしていきます。
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便困難者を把握し、食べ物や水分補給強化、運動にて便通を働きかけるなど改善へと支援しています。排便記録から便秘が改善されない場合は、かかりつけ医に相談もしています。		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを実施し、一人ひとりの衛生をを保っています。また、義歯が合わなくなった利用者には歯科受診をし調整をするようにしています。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量の把握・調整することで、利用者個々の嗜好を取り入れ確保へと繋げています。一人ひとりの状態に応じ、刻み食やトロミをつける等の工夫をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	各種のマニュアルを作成し、予防への徹底をしています。感染への発症が合った場合、勉強を開き対応策をし、実施しています。	○	感染症を未然に防止するためにも、ミーティング等で周知徹底し、特にノロウイルス感染を防止対策を取る。
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日の手洗い、消毒を業務化し実施しています。毎晩、調理器具は次亜塩素酸系にて漬け置き消毒をしています。また、食中毒時期には感染予防マニュアルに沿って調理しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホーム周囲には季節折々の花や木が植えるなどし、誰でも出入りできる雰囲気作りに努めています。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節折々の花々を生けたりするなど、家庭的な雰囲気作りをしています。共同空間には利用者との共同制作物を掲示しています。職員の声質に気をつけたりと不快な音への配慮をしています。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者が気兼ねせずに相互交流を図れるよう場の提供をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	利用者個々の使い慣れた生活用品を取り入れた り、過ごしやすい空間作りへと工夫しています。		
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	外気温との差が生じないよう気温に気をつけ調整 を行っています。また、定期的に換気をしていま す。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	全室をバリアフリー、手摺りの設置をし自由に動 けるようにしています。各部屋には、個人の機能 に合わせた部屋作りを作成しています。		
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	掃除用具はいつでも使用できるようにし、共同ご み箱を設置しています。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できる ように活かしている	狭いスペースではあるが、敷地内に花壇や菜園を 作り、活動できるようにしています。また、庭先 にベンチを設置し、庭を眺めたり、散歩できるよ うにしています。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- (1) 町中に施設があり、気軽に商店街へでかけ地域の方々と触れ合う機会が多く、近隣には学校や幼稚園、神社もあり交流の場としています。
(2) 運営母体であるクリニック医師と連携を図りながら、利用者が健康で生き活きとした日常生活が送れるよう支援しています。